

埼玉連だより

令和5年11月30日

第
72号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼250-19(本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

コンプライアンス研修会 について

会長 本橋 民夫

埼玉県弓道連盟では、令和5年8月26日に常務理事、理事、監事、倫理委員等を対象に「コンプライアンス研修会」を開催しました。パワーハラスメント、セクシャルハラスメント事案が社会問題化していることに鑑み、今年度は、常務理事会、理事会メンバー及び倫理委員等を対象に今回の研修会を企画しました。研修会は、埼玉県東部法律事務所の弁護士池永知樹先生をお招きして、【ハラスメント防止】及び【スポーツ団体としてのガバナンス・コンプライアンス】と題して説明を頂きました。

【ハラスメント防止】では、「パワハラ」の定義、「パワハラと指導の違い」「セクハラ」の定義「セクハラを防ぐために注意すべきこと」について説明を受け、「パワハラ」の相談を受ける際の留意点等について学びました。「パワハラ」の定義においては、厚生労働省ではパワハラを「その時代の平均的な労働者の感じ方を基準に判断する。」と規定しています。時代の変化とともに社会体制、取り巻く環境、人々の考え方に変化があるように、パワハラについての考え方、受け止め方も変わってくるということです。以前は職場で当たり前のように行われていた「業務指示」や「指導」に対する受け止め方は、最近では、精神的に傷ついた、ハラスメントを受けたというようにとられ、問題になることも多くなっています。また、業務上の正当な指導であっても自分の行った行為を反省することなく、言い方が悪い、傷ついた等指導した側に逆に言いがかりをつける、悪質な逆パワハラの問題も増えてきているようです。

「指導」と「パワハラ」の境界線は時代と共に変わるものであり、どこまでが「指導」とし

て許され、どこを越えたら「パワハラ」になるのか、今はその境界線が非常に難しい時代にあると思います。

コンプライアンス(法令順守)とは、言うならば法令を守る、道徳を守る、マナーを守ることだと思えます。定められたことをきちんと守って行動する、他人との関係を良好に保つてより良い環境を構築し、より良い生活を目指すこと、それはまさに道徳、マナーです。

弓道教本第一巻には、「それ射は聖人の遺教にして、進退周還必ず礼にあたる。これ皆道徳を修るの道なり。」とあり、弓を学ぶということは道徳を学ぶことであり、生き方を学ぶことであるということを明確にうたっています。

例えば、弓道では道場の使い方に関しても古くから「礼」に叶った作法・マナーがあります。これらは、道場で稽古を重ねながら、周囲の人々の行動を見て身に付けていくものです。稽古の際には、常に稽古中の人々に対しての配慮が必要であり、「礼」が必要です。「礼」とは互いに思いやる心であり規則ではありません。だから拘束力は無いので、守らなくても罰則はありません。「弓道場は公共の場所だから、先輩も後輩もなくどこで引いても問題はないし、隣でどのようなことをやっても問題はない。」という考えの人が上層部にいる道場があります。しかし、無秩序な道場で稽古を重ねても、精神の向上は望めないと思います。時代と共に価値観の変化はありますが、「礼」に対する人の心は古来より変わっていないと思います。

弓道に対する価値観の相違がパワハラ、逆パワハラ等を生む原因であると思えます。常に「礼」の心を持って指導に当たり、後輩の方々も謙虚に受け入れる姿勢が大切ではないかと思えます。

範士号を拝受して

範士八段 浅野 有三

私が四段の時、教士七段の先生の射を後ろから拝見しました。七段の先生は3番的で引いていましたが、私は5番的の本座あたりにいました。失礼ながら後ろから拝見していたことになります。

激みなく引き分け、会での保ち、その後驚いたのは一文字の鋭い離れ、残身でした。こんな残身ができるのか。若輩の私は、残身は右肘が下がるものだと思っていました。大三から肘を下ろして引き分ければ、その力の方向は下へ向かっているので残身は右肘が下がった位置に収まるものだと思っていました。一文字の離れというのは、話には聞いていましたが実際にあるものだとは考えていませんでした。この感動は逆にその後ずっと私を縛りました。

その後14年して私も七段になりましたが、私の射を見て感動する人がいるだろうか、と悩みました。この見ている人に感動を与えているか、ということにずっと縛られていました。もともと若い頃から射形が悪いと言われ続けていましたので、射形については自信がありませんでした。八段になった時も人に感動を与える射だろうか、という悩みは続きました。

ただ、逆にこの自信のなさが返って良い方向に向かったのではないかと、範士をいただいた今は思っています。自信満々ではもう伸び代がないのではないかと思います。謙虚に射に向き合うことは大切なことだと思います。

範士ということになりますと、皆様は射技指導を期待されていることと思います。範示できることも期待されているかと思えます。ただ範士になる頃には大分体力も落ちてきています。体力が落ちてきますと今までパワーで引いてきた弓道はできません。

武道に限らず、スポーツ全般は若い頃は体力に頼って素晴らしいパフォーマンスを見せてくれます。考えていることを体が忠実に再現してくれます。しかし、年を取ると考えていても体がついてきません。今までは矢数をかけて体に覚え込ませてきた弓道を、体力に頼らない合理的な引き方を考えるようになります。

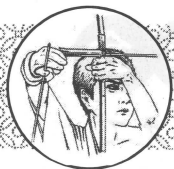


力に頼っていた引き方を理屈（理論）をもとにした引き方によって体力の衰えを補うようになります。パワーに頼らず体の使い方の理論によって弓をひく。この切り替えができないと年を取ってからの弓道は大変です。若い頃はいい弓を引いていたのにね、と言われてしまいます。

弓を教える、弓で教える、という言葉があります。弓を教えることは誰でもできます。では、弓で何を教えるか。

弓道教本第1巻では弓道の理念として人間完成の必要ということを挙げています。自分自身の人間性を完成させることにより他者の人間性の向上を誘発する。誠心誠意ということが大切で、弓道に限らず全てのことに常に誠心誠意努めることが、弓で教える、ということになるのではないのでしょうか。

莫妄想（まくもうぞう）という言葉もあります。考えても仕方がないことは考えずに、今現在のことに集中しなさい、ということです。弓道では離れで迷う人が多いようです。抜いたらどうしようと、離してみなければ分からないことを考えてしまう。今の会に誠心誠意向き合ってください、ということでしょうか。



専門委員会だより

総務委員会

法人化に伴う業務提要の改訂について

委員長 竹内せき子

令和5年4月3日「埼玉県弓道連盟」は「一般社団法人埼玉県弓道連盟」に変わりました。これに伴い、総務委員会では現在使用している「業務提要」の一部見直しを2回に分けて行いました。内容は主に名称の変更となりますが、新たに追加された規程としては「監査規程」と「会員情報管理」の二つがあります。来年度早々、各役員に配布できるよう準備を進めているところです。

<変更された主な名称>

(旧)	(新)
埼玉県弓道連盟	→ 一般社団法人埼玉県弓道連盟
理事長	→ 専務理事
副理事長	→ 事務局長・事務局次長
常任理事	→ 常務理事
評議員	→ 代議員
会則	→ 定款

法人化したことにより、難儀なこともありますが、会員数が5千人を超える団体ですので、これはもう必然と言わざるを得ません。

<法人化によるメリット・デメリットは？>

関心があり調べてみましたが、弓道の団体として当てはまるのかどうかは判りません。

- ① 税金面で有利になる
- ② 社会的な信頼度が高くなる
- ③ 会計処理が厳密になる
- ④ 法人の設立費用が必要となる

などが挙げられます。

何はともあれ透明性を重視し、一般社会に開かれた「一般社団法人埼玉県弓道連盟」はスタートしました。

● Cloud「クラウド」について

近頃テレビのコマーシャルなどで、よく耳にすることが多い「クラウド」という言葉ですが、総務委員会では、2年ほど前から会議の議事録や、その時の資料などをUPして検証を行って参りました。現在、無料で使える5GBの80%ほど使用しており、この先続けていくには容量を増やす必要があり有料となります。

話し合いの結果、この先々を見越し、余裕をもって1TBの契約を交わすことに致しました。折しも法人化したことにより、法人契約が可能となり、わずかですが利用料金のコストダウンにも繋がっています。

一昔前までは引継ぎの際、段ボール箱に入った大量の資料の山を前にして、どこに置いておけば良いのか悩まれたのではないのでしょうか。時代が変わり、保管場所に悩むことなく、また災害等による損失もなく、安心安全なデータの保管を提供したいと考えています。

● 相談のあれこれ

県内60の各連盟(道場)、何処も老若男女が混じり合って練習をしたり、射会を行ったりと和やかな情景を思い浮かべるのですが、そこはお互いを敬い尊び、今こうして居られることへの感謝の心があつたればこそで、相手の考えに耳をかさず、我が正しいと言わんばかりに我を通そうとすると和が乱れます。

先ず、相手の言い分を聞き入れたうえで、自分の意見を述べ、相互に譲り合い、ここといたところで折り合いをつけるのが大人の対応と言うのでしょうか。そうは言っても十人十色、思うことはそれぞれ違うものですから、どこの道場でも一つや二つのいざござはあるものです。

そこで、悩んでいることを誰かに話してみるのはいかがでしょうか。親しい弓友、先輩、道場長、話してみれば解決はしなくても気が晴れます。

多様化していく時代に於いて、お互いの考え方の違いを認め、受け入れながら共に成長していくのが理想です。だからこそ、弓道を通しての学びは大きく無限なのです。

指導委員会

講習会の意義

委員長 飯島千代子

真夏日の多かった長い夏が過ぎ、過ごしやすい秋になりました。コロナ感染症の心配と共に、インフルエンザの流行も気がかりとなってまいりました。

埼玉県連の講習会は、年度初めに掲げた指導目標を軸に進めております。感染症の心配もあり、今年度も人数制限(30名)をさせていただいております。

最近、抽選で漏れてしまうかもしれないので申し込みをしないという声を耳にしました。また、審査申込用紙に記載の必要がないので受講しないという声も届いております。

講習会の意義は、为什么呢？ 弓道は段位には関係なく八節を正しく行うことであります。講習会では、そのお手伝いを講師がさせていただきますいております。

伝達講習会の指導目標は、「的中につながる為の正しい基本体」でした。真後ろで正しいねらいを講師が指導すると、自身のねらいと全然違うところを向いてしまう例が何件もありました。それは、自身の射形がずれていると理解していただきたいと思えます。

「会」に至るまでの動作は、それぞれ重要な役割があり、それを理解して活かして積み重ねていくことにより、正しい射形と正しい働きが生まれることとなります。それには初期の段階(執弓の姿勢や、弓構え)で、無駄な動作はせず、無駄な力を使わないことが肝要となります。結果、より効果的・的中率を望むことができると思ひ、各会場で講師は頑張っております。

様々な理由があつて講習会に参加できない方もいらっしゃると思いますが、上記の為でしたら考えを改め、申し込みをしていただきたいと思ひます。以前は50人もの参加者で、思うような指導ができないことがありました。30人限定の今、丁寧な指導ができると思ひます。

最近、会員さんから、埼玉連だよりの指導委員会記事に後押しされ審査で頑張れて合格できたと嬉しい便りがありました。

講師と受講生共に頑張つてまいりましょう。よろしくお願ひいたします。

競技委員会

国体関ブロを終えて

委員長 市川 政子

日頃競技委員会にご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

2年前より準備をしてまいりました特別国体関東ブロック大会が7月22・23日に開催されました。

昨年7月各部署主任の皆さんには暑さとコロナ感染が厳しい状況の中、東京(昨年関ブロ開催)へ視察に行つて頂きました。その報告を受けて会議を重ね、今年4月には競技役員の方々の全体会議を開催しました。7月に入つてからリハーサルが2週に渡り行われるなど、競技役員の方々には県立武道館通いが続きました。気温が37度の日もあり猛暑酷暑の中、部署ごとに何度も話し合いが持たれ、具体的に実践練習等が行なわれました。自分の仕事が上手くできれば良いと言うものでもなく、他の部署とも連絡を取り合い、全体の連携を図らなければ大会は成り立ちません。しかしながら皆さん立派に仕事をしてくださりました。

会長をはじめ平野先生、千葉先生におかれましては多くの仕事を抱え大変なご苦労があったと思ひます。また、医師の濱松先生、看護師の記内さんには競技役員他の健康観察で会場の見回りをして頂き、体調が悪くなつたり、何かあれば直ぐに対応して頂けるということで安心して仕事が出来ました。競技役員の方々大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

参加された各県選手の方々も猛暑の中お疲れの事だつたと思ひます。リハーサルでも懸命に練習されておりました。私達は埼玉県の選手の方々を応援しましたが、全選手がこれまでの練習の成果が出せますよう願ひつつ大会を見守りました。ブロック大会を通過された選手の方々には本国体で力を発揮して頂きよう陰ながら応援をさせていただきます。

11月25日武道大会、翌年1月8日新年初射会は日高アリーナ弓道場で開催されます。

コロナ感染につきましてはまだまだ身近な所で感染者が出ています。ご注意くださいよう願ひいたします。

国体選手強化委員会

関東ブロック大会までの経過について

委員長 古泉 利昭

今回の特別国民体育大会関東ブロック大会は地元埼玉開催でしたが、大会運営役員の皆様の綿密なご準備により、コロナ禍、また7月の暑い中での開催にも関わらず気持ちよく競技に集中させていただき有難うございました。

さて、国体選手強化委員会としてブロック大会を目指しての取り組みですが、昨年12月から育成会を毎月1回計3回行いました。育成会は、国体を目指す方の技量向上と国体に対する理解を深めるという趣旨で行っておりますが、今年はメンタルトレーニングや的芯をしっかり狙うなどをテーマに行いました。参加された皆さんが少しでも身に付けてくれたら、また国体を少しでも身近なものに感じてくれたらと願っております。

3月から選手選考会が始まり、5月7日の3回目の選考会で国体選手男女各3名計6名と年間強化指定選手の男子3名、女子2名の計5名を決定しました。

関東ブロック大会が7月開催で2か月位しか錬成期間がなく、また9月から県立武道館が改修工事で使えなくなるため各行事が前倒しになるなど、厳しい練習環境ではありましたが、少年の選手と合同練習での競い合いや地元開催のため他県からの練習試合の申し込みが多くあり、自分たちの実力を量るのに大変役立ち、よい面もあったかなと思っています。

関東ブロック大会の成績は、少年は健闘しましたが男子、女子とも今回は関東ブロックを通過することはできませんでした。また、成年は、男子：遠的3位、近的2位で総合2位、女子：遠的4位、近的3位で総合3位と皆様の応援と協力のお陰でなんとか両チームとも鹿児島国体に出場の切符を手にすることができました。

これも応援、またいろいろご協力をいただいた皆様のお陰と感謝いたしております。

この埼玉連だよりが発行される頃には国体も終了し、来年の佐賀国体に向けて国体選手育成会が開催されていることと思っておりますが、途中からの参加で結構ですので、是非大勢の方がご参加くださるようお願いいたします。

審査委員会

実施状況と環境変化について

委員長 齋藤 安次

日頃より審査会にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

審査会は公益財団法人全日本弓道連盟（以下、「全弓連」と称する）が主催し、一般社団法人埼玉県弓道連盟（以下「埼玉弓連」と称する）が主管する事業です。

全弓連は会員に対する称号授与及び段級の認許ならびにこれらの公正な審査に関し必要な事項を定めたものとして、「審査規程と内規」「審査における行射の要領」「審査統一基準」「中央審査会における立射での受審申請について」「立射の作法」等を全弓連ホームページ（以下「HP」と称する）に公開されています。受審を希望されている方々は是非ご一読いただき、疑問の解消と稽古に役立てていただきと思えます。

さて、今回は上期実施の審査会全体概要とこれまでに寄せられた質問・意見等にお答えする誌面とします。

- 2023年4月1日から9月30日までに実施された審査種別毎の受審者数と合格者数を次表にまとめましたので参考にしてください。

事業開催にあたってコロナ感染防止対策が緩和され、審査事業も概ねコロナ禍前に戻ってきました。しかし感染者が一定程度発生していること、弓道関係者には高齢者が多いことを考慮し、最低限の感染症対策は継続していきますので、ご不便をお掛けしますがご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

受審者数の総計は3,081名（前年度比7.8%増）、合格者数の総計は1,597名（前年度比10.5%増）です。中央審査の一部で前年度を下回ったものの、全体としては上期を良い結果で締めくくることができました。

審査種別の概要(上期)

埼玉県弓道連盟

審査の種別	審査回数		受審者数		合格者数		備 考
	上期	下期	本年度	対2022年度増減	本年度	対2022年度増減	
地方審査	9	3	2152	156	1527	145	合格者には 級位査定者を含む
県連主催・高校	4	1	1352	32	1264	48	
・一般	5	2	800	124	263	97	
(県外主管)	0	0	0	0	0	0	
連合審査(五段)	8	6	326	35	23	10	県外受審者は 集計には含まれず
県連主管	0	1	0	0	0	0	
(県外受審者)			0	0	0	0	
県外主管	8	5	326	35	23	10	
学生・教員特別審査	1	1	43	29	27	15	初段～五段 初段～六段・錬士 初段～参段
特別学生	1	1	41	27	27	15	
特別教員	0	0	2	2	0	0	
学校指導者	0	0	0	0	0	0	
中央審査	12	10	560	19	20	△ 2	<範士昇格1名> 六段～八段、教士 六・七段、錬士 錬士
定期	3	2	136	△ 33	4	0	
臨時	4	4	332	60	14	5	
錬士臨時	4	2	92	△ 14	2	△ 2	
特別臨時	1	2	0	6	0	△ 5	
総 合 計	30	20	3081	239	1597	168	

※表中△はマイナス

● Q&A

- Q1: 審査申込書を作成時修正しても良いか
また、他人に修正依頼しても良いか?
- A1: 1,2カ所の訂正であれば二重線・修正液を使用しても良いが、必ず訂正印を押印すること。多く(道場・支部・県連)の人を介して取りまとめが行われるため申込書の信頼性確保が第一です。途中で間違いが発覚した場合は、原則本人に戻し訂正又は書き直すことになります。
- 書いた本人は、記入漏れがないか?記載内容に間違いがないか?等を確認して提出してください。第2の確認は道場の受付担当者がしっかり内容確認してください。県連担当者は数百人分の申込書を扱いますので内容の確認は難しいのが実情です。
- Q2: 認許証の氏名が違っている場合の対処法を教えてください。
- A2: 先ず審査委員会支部担当を通して県連担当者に一報して下さい。有料(印刷費)になりますが再発行の手続きをします。
- 氏名の文字が違う時に一番多い問題が外字です。外字とはJISコードに含まれずコンピュータが標準で備えていない文字です。この文字が氏名に採用されている場合は、IT事務所へ会員登録する際に外字登録手続きを行っています。外字登録をしていない会員は認許証がJIS標準文字で発行されます。例、【吉(標準)、吉(外字)】【土(標準)、土・土(外字)】【橋(標準)、橋(外字)】
- Q3: 次の審査会は埼玉方式なのか全弓連方式

のどちらですか?

- A3: 以前にもお伝えした通り「埼玉方式」は廃止し、全弓連の「審査における行射の要領」による間合いで審査します。申込者が多数で審査が夜間にずれ込む場合、全弓連の承認を得て早い間合い(弦音打起し)で実施する場合がありますが、その場合は事前に受審者へ通知します。
- Q4: 立射で受審したいけれど手続きを教えてください。
- A4: 初めて立射で受審する場合は、所属長又は支部長が発行する「立射証明書」を発行してもらい審査申込書の受審者連絡欄に朱書きで「立射希望、膝関節症」などと記載し、審査申込書に立射証明書を添えて提出してください。
- 審査申込書を提出後に怪我で坐射ができなくなり立射で受審したい場合、支部経由で県連担当者にご相談ください。どのように対応すれば良いか指示が出ます。
- Q5: 身体障がいを受審者連絡欄に記載したら審査にプラス影響がありますか?
- A5: 立射以外の身体障がいに係わる規程等は一切記述がありません。障がい箇所・その程度は人によって千差万別なので、公正な審査規準作りをするには相当な時間と知恵が必要になると思います。
- 五段以下の審査は「審査統一基準」が公開されています。
- ※会員から寄せられた疑問に答えるために、次回以降も掲載させていただきます。

女子部

国体関東ブロック大会役員を経験して

委員 大橋 千尋

私は、令和元年に女子部委員を拝命致しました。その年は、女子大会が通常通り開催され、初めて県主催の大会の運営に携わる経験をする事が出来ました。しかし、その後のコロナ禍により、県の各種行事は開催が中止され、女子大会も令和3年度に1度開催されたのみとなりました。

そんな折に、令和5年7月に埼玉県で開催される「国体関東ブロック大会」の大会役員の依頼をいただきました。当初は、競技委員等の経験も無い自分に勤まるだろうか、と不安に思いましたが、松澤女子部長が仰っていた「女子部委員となったからには、ひとつでもスキルアップして、各支部・連盟の活動に役立てられるように」とのお言葉を思い出し、思い切ってお引き受けする事に致しました。

私の担当は遠的の看的委員で、得点揭示係でした。実際の大会を想定してのリハーサル大会や、公開練習会を通じて、得点揭示の方法や、的前審判委員との得点の確認、得点訂正の手順等、得点揭示係としての動きを確認し、繰り返し練習出来た事により、ひとつずつ不安を取り除く事が出来ました。また、遠的の前はこの夏の記録的猛暑との闘いでもありましたが、設営委員の方々が、強烈な日差しへの対策を講じて下さり、総務・救護委員の方々のきめ細やかなサポートのお陰で、熱中症になることもありませんでした。そして、同じ遠的の前となった委員の方々と、支部を越えて交流し親しくなれた事が、酷暑の中での仕事を乗り越えるパワーとなったように思います。そうして迎えた大会当日、事前の入念なリハーサルのお陰で、大きなミスをする事もなく、また体調を崩す事もなく、無事に終える事が出来ました。

「国体関東ブロック大会」という、大きな大会の運営の一部に携われる貴重な経験を積む事が出来て、少しだけスキルアップ出来たのではないかと感じています。この経験を、今後の女子大会の運営や、支部・連盟の行事等に役立てていきたいと思っています。

高体連

令和5年前半を振り返って

委員長 坂本 修

日頃より弓道連盟の皆様には、高体連弓道専門部の活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度における一番の行事である関東高等学校弓道大会が、6月2日～4日まで県立武道館にて開催されました。今大会は平成28年度に開催した東日本大会と同様に、主道場に特設会場を設営する形で実施いたしました。その際、弓道連盟から多大なるご支援をいただきました。この場を借りましてお礼申し上げます。大会結果は、男子団体において県立浦和高校が優勝、坂戸西高校が技能優秀校、女子個人で寄居城北の久保田選手が5位ということで、とても良い形で終えることができました。

その他上位大会の結果ですが、8月に開催されましたインターハイにおいて、坂戸西高校が男子団体で7位になりました。また、紫灘旗全国高校遠的弓道大会において、県立浦和高校が男子団体で優勝、草加東高校が女子団体で5位になりました。

8月12日～13日 高校顧問研修会が開催されました。当日講師を務めていただきました本橋民夫先生、鹿野信恵先生、廣松弘先生に対しまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

<大会結果>

●関東大会県予選

令和5年4月22日(土) 23日(日) 県立武道館
男子 142 チーム 444 名

女子 149 チーム 456 名

○男子団体／①坂戸西A(宮下雄琉、山元雅之、川端歩武、守安優希)②浦和A(樋口 慶、宮原健太、今藤 樹、氏家凌雅)③川越A(松本花陽、金井塚 渉、歌代 温、金子和徳)④所沢北A(久和優真、松下将也、萩谷凌多、岸川月太)⑤浦和B(工藤僚真、山上陽祐、鈴木晶太郎、松田昂成)⑥山村学園A(井上 優、榎

拓海、細川幸聖、吉澤 奨)⑦大宮A(大島爽翔、小林功基、佐藤朱雀、加藤 颯)⑧大宮東A(古澤雲珠、佐藤 狼、齋藤則男、山口侑輝)

※男子団体上位7校が関東大会出場

○女子団体／①坂戸西A(増田姫夏、齊藤千尋、小原沙羅、長棟真依)②草加東B(長 雅菜、市東咲乃、春日こもも、吉田七彩)③寄居城北A(小峯 叶、久保田春菜、高柳乃愛、石口愛莉)④与野A(山口 栞、小島那心、橋本聡美、小林真菜)⑤坂戸西C(富田 優、河内來花、栗原あずさ、澤崎埜乃)⑥岩槻商業A(芳野七海、橋爪瑠依、石川ひなた、下山 凜)⑦西武文理B(東千佳乃、平田 結、坂本雪那、田久保わのか)

※女子団体上位6校が関東大会出場

○男子個人／①樋口 慶(浦和)②内村 匠(越ヶ谷)③西 智也(秩父農工科学)

○女子個人／①石口愛莉(寄居城北)②坂本雪那(西武文理)③加藤聖菜(秩父農工科学)

●高校遠的選手権大会

令和5年5月4日(木) 県立武道館

○女子個人／①増田姫夏(坂戸西)②佐藤 結(狭山ヶ丘)③飯塚紅桜(伊奈学園総合)

○男子個人／①川端歩武(坂戸西)②足立遼太(武蔵越生)③中嶋優弥(坂戸西)

●第67回関東高等学校弓道大会

令和5年6月2日(金)～4日(日)

埼玉県立武道館特設弓道場

○男子団体／①浦和(宮原健太、今藤 樹、鈴木晶太郎、樋口 慶)

○女子個人／⑤久保田春菜(寄居城北)

○男子団体技能優秀／坂戸西

○男子個人技能優秀／川端歩武(坂戸西)、山元雅之(坂戸西)



●高校総体県予選

令和5年4月30日(日) 6月10日(土)11日(日)17日(土) 大宮公園、県立武道館、日高市文化体育館、熊谷運動公園

男子70チーム1,031名

女子72チーム1,209名

○女子団体／①草加西(由良優泉菜、高島小羽音、大山蒲公英、菊地明理、平峰希美、空閑美

苗、永純 蓮)②正智深谷(池下恋美、山崎菜之花、黒澤陽楓、市川莉子、望月心菜、村田鈴風、櫻澤琴音)③大宮東(永井心菜、杉田帆南、須藤栄佳、板垣美結、福山いろり、並木瑠依、西内瑞羽)④草加東(阿佐美海怜、長 雅菜、市東咲乃、春日こもも、藤木 笑、宮澤陽向、吉田七彩)

○男子団体／①坂戸西(宮下雄琉、小林 諒、石崎 孟、山元雅之、川端歩武、中嶋優弥、守安 優希)②伊奈学園総合(長谷川光、小川蒼生、長友翔也、小林達哉、池頭幸登、川口 暁、瀬戸口智樹)③浦和(樋口 慶、今藤 樹、工藤僚真、宮原健太、鈴木晶太郎、氏家凌雅、山上陽祐)④所沢北(久和優真、松下将也、長尾英雄、林 朝輝、萩谷凌多、安井彰吾、知久莞汰)

○女子個人／①草岡美波(川越総合)②村上純奈(市立浦和)③加藤結菜(滑川総合)④下山 凜(岩槻商業)⑤遠藤未侑(星野)⑥市東咲乃(草加東)⑦宮澤陽向(草加東)⑧福山いろり(大宮東)

※1、2位が本大会出場

○男子個人／①今藤 樹(浦和)②川端歩武(坂戸西)③近藤峻央(所沢北)④吉田将輝(東京成徳深谷)⑤井上 優(山村学園)⑥池頭幸登(伊奈学園総合)⑦高橋翔馬(本庄)⑧宮下雄琉(坂戸西)

※1、3位が本大会出場

●紫灘旗全国高校遠的弓道大会県予選

令和5年6月24日(土) 県立武道館

○女子団体／①草加東②秩父農工科学

○男子団体／①坂戸西②浦和

※男女各上位2校と川越(推薦出場)が本大会出場

●特別国体関東ブロック大会

令和5年7月22日(土)23日(日)

埼玉県立武道館弓道場

○少年男子／宮下雄琉(坂戸西)、足立遼太(武蔵越生)、川端歩武(坂戸西)、監督：古岡大路(川越南)、コーチ：倉田春樹(武蔵越生)、山崎康太(大宮武蔵野 女子も兼任)

○少年女子／寒河江涼菜(坂戸西)、加藤聖菜(秩父農工科学)、増田姫夏(坂戸西)、監督：丸山康弘(秩父農工科学)、コーチ：岸口脩司(坂戸西)、山田尚子(伊奈学園総合 男子も兼任)

少年男子 近的3位 遠的6位 総合5位

少年女子 近的6位 遠的7位 総合8位

●第 68 回全国高校総体

令和 5 年 8 月 3 日（木）～ 6 日（日）
真駒内セキスイハイムアリーナ特設弓道場
○男子団体／⑦坂戸西（宮下雄琉、小林 諒、石崎 孟、山元雅之、川端歩武、中嶋優弥）



●高校顧問研修会

令和 5 年 8 月 12 日（土）～ 13 日（日）
県立武道館 27 名参加

●紫灘旗全国高校遠的弓道大会

令和 5 年 8 月 19・20 日 久留米アリーナ弓道場
○男子団体／①浦和（松田昂成、今藤 樹、氏家凌雅、佐野貴也）
○女子団体／⑤草加東（市東咲乃、春日こもも、

藤木 笑、宮澤陽向）

●関東個人選抜県予選

令和 5 年 8 月 24 日（水）～ 25 日（木）県立武道館

参加 男子 419 名、女子 441 名

○男子個人／①秋馬充雄（川越）②山本琉斗（伊奈学園総合）③市川 潤（大宮）④小林春斗（鳩ヶ谷）⑤松井漣音（草加西）⑥原 新樹（慶應志木）⑦寺本一徳（浦和西）⑧井上恵仁（草加西）⑨赤池星哉（山村学園）⑩大谷歩夢（浦和北）⑪龍満陽斗（鳩ヶ谷）⑫小岩井陽斗（浦和）

○女子個人／①山辺咲希（伊奈学園総合）②宮澤陽向（草加東）③池下恋美（正智深谷）④杉澤彩乙（伊奈学園総合）⑤永峰明音（東農大三）⑥長島友里奈（東京成徳深谷）⑦由良優泉菜（草加西）⑧高橋陽菜（東京成徳深谷）⑨石上依吹（武蔵越生）⑩丹治姫乃（大宮光陵）⑪松村香佳（大宮光陵）⑫山崎紗帆（大宮南）⑬西内瑞羽（大宮東）

●第 42 回関東個人選手権選抜大会

令和 5 年 9 月 9 日（土）10 日（日）
明治神宮至誠館第二弓道場 入賞者なし

大会・射会入賞記録

●第 144 回明治神宮奉納遠的弓道大会

令和 5 年 5 月 3 日（水・祝） 明治神宮至誠館第二弓道場（遠的） 参加 221 名
○四・五段の部：①長井敦史（熊谷公園）④柿沼清孝（春日部）⑤時岡秀教（宮代）

●第 35 回埼玉県実年者弓道選手権大会兼全国健康福祉大会（ねんりんピック）県連予選会

令和 5 年 5 月 8 日（月） 埼玉県立武道館 参加 100 名

○埼玉県実年者弓道選手権大会：①浅子好夫（大宮）②矢島房子（駒場）③大西三枝子（越谷）④木元 茂（深谷）⑤小島玄二（熊谷公園）

○さいたま市代表選手：①仲田孝雄（上尾）②後藤 繁（駒場）③中島美佐子（大宮）④須原 暢（大宮）⑤池田浩次（大宮）⑥佐々木直子（大宮）⑦須藤敦子（大宮） 監督：池田浩次（大宮）

○県代表選手：①出下晃一郎（朝霞）②野瀬武博（富士見）③塩田平一（幸手）④小島玄二（熊谷公園）⑤木元 茂（深谷）⑥初田美代子（桶川）⑦杉山浩子（上尾） 監督：出下晃一郎（朝霞）

※上記代表選手は、全国健康福祉大会（ねんりんピック、於：愛媛県松山市）に出場

●埼玉県弓道選手権大会（称号者の部）

令和 5 年 5 月 20 日（土） 埼玉県立武道館 参加 105 名

○称号者の部：①平船栄治（志木）②浅野有三（記念）③高木 渡（狭山）④加藤祐子（記念）⑤松澤かおり（大宮）

○全弓連会長盾：平船栄治（志木） ※三県選抜弓道大会出場：①高木 渡（狭山）②軽込次男（岩槻）

③坂東 文(日高)④平船栄治(志木)⑤内田いづみ(桶川) 補欠①安野雄次(小川) ※全日本弓道選手権等二次選考会へ男子9名・女子8名を選出

●埼玉県弓道選手権大会(有段者の部)

令和5年5月21日(日) 埼玉県立武道館 参加137名(三段以下63名、四・五段74名)

○三段以下の部:①上野敏行(大宮)②赤尾 恭(蕨)③長谷川雅一(朝霞)④飯塚雄己(上尾)⑤松永江里(戸田) ○四・五段の部:①高野 聖(久喜)②島田 勲(小川)③新里 陵(久喜)④畑中みゆき(越谷)⑤高橋利夫(川口) ○全弓連会長盾:高野 聖(久喜) ※関東選抜選手権出場:①高橋利夫(川口)②関口尚人(熊谷公園)③新里 陵(久喜)④高野 聖(久喜)⑤畑中みゆき(越谷) 補欠:荒川直美(入間) ※三県選抜弓道大会出場 三段以下の部:5名+補欠1名 四・五段の部:5名+補欠1名

●全日本弓道選手権(兼各種大会)二次選考会

令和5年5月28日(日) 大宮公園弓道場 参加 一次予選通過者16名

※全日本弓道選手権関東ブロック予選出場 ○男子:①廣松 弘(駒場)②高木 渡(狭山)③古泉利昭(駒場)④軽込次男(岩槻) ○女子:①加藤祐子(記念)②市川政子(入間)③鹿野信恵(越谷)④松澤かおり(大宮)

※関東選抜選手権出場:①廣松 弘(駒場)②平船栄治(志木)③高木 渡(狭山)④軽込次男(岩槻)⑤市川政子(入間) 補欠①宮澤梢枝(川口)

●第66回三県(群馬・埼玉・栃木)選抜弓道大会

令和5年6月4日(日) 栃木県総合運動公園ユウケイ武道館弓道場(宇都宮市) 参加76名

○個人戦 称号者:①坂東 文(日高)③高木 渡(狭山) 特別参加:①古泉利昭(駒場) 国体選手成年男子:③高野 聖(久喜) 国体選手成年女子:③小野千絵美(記念)

●第70回全日本勤労者弓道選手権大会(佐賀)

令和5年6月16日(金)~18日(日) 多久市緑が丘弓道場 ホンダ埼玉 第一次予選通過

●第36回埼玉県民総合スポーツ大会

令和5年7月2日(日) 埼玉県立武道館 参加96名

○近的団体男子Aの部:①県南支部(前川琢也、村永政志、宮崎正範)②県北支部(関口尚人、長井敦史、大嶋道雄)③東部支部(新里 陵、吉田昭男、川口 治) ○近的団体女子Aの部:①県南支部(藤井澄恵、五十川実千恵、中村尚美)②県央支部(森 典子、山岸繭子、加藤祐子)③東部支部(大垣朋子、佐藤明子、高橋かおる) ○近的団体男子Bの部:①東部支部(三田 明、柿沼清孝、木村鷹士郎)②中部支部(千葉秀明、市川浩治、三宮貞文)③県北支部(高荷國男、荘子宏幸、茂木昭夫) ○近的団体女子Bの部:①中部支部(坂東 文、小瀨慶子、清水恵津子)②県南支部(大西三枝子、志賀千夏、沼沢睦美)③東部支部(山ノ内昭子、石井千尋、初田美代子) ○遠的団体男子Aの部:①東部支部(新里 陵、吉田昭男、川口 治)②県北支部(関口尚人、長井敦史、大嶋道雄)③秩父支部(野沢 匠、町田孝之、丸山康弘) ○遠的団体女子Aの部:①県南支部(藤井澄恵、五十川実千恵、中村尚美)②県央支部(森 典子、山岸繭子、加藤祐子)③西部支部(安江仁美、小泉恭子、森下珠美) ○遠的団体男子Bの部:①県南支部(森 俊人、秋元宏友、福島 實)②東部支部(三田 明、柿沼清孝、木村鷹士郎)③秩父支部(若林 陵、丸山 彰、加藤佳宏) ○遠的団体女子Bの部:①東部支部(山ノ内昭子、石井千尋、初田美代子)②県南支部(大西三枝子、志賀千夏、沼沢睦美)③県央支部(神田亜紀子、影山真紀恵、小林ミワ)

●第34回埼玉県弓道遠的選手権大会

令和5年7月9日(日) 埼玉県立武道館 参加73名

○男子四段以下の部:①玉井京太郎(与野)②深堀秀治(日高)③松井啓介(春日部) ○女子四段以下の部:①前澤梨江(春日部)②宮森いずみ(吉川)③松永恵実香(朝霞) ○男子五段以上の部:①青木 豊(行田)②千葉秀明(毛呂山)③宮崎正範(吉川) ○女子五段以上の部:①小野千絵美(記念)②藤井澄恵(越谷)③荻原明美(鴻巣) ○総合優勝:小野千絵美(記念)

※全日本弓道遠的選手権大会(全弓連中央道場)へ出場 ○男子:青木 豊(行田)千葉秀明(毛呂山) ○女子:小野千絵美(記念)藤井澄恵(越谷)

●第22回明治神宮崇敬会全国弓道大会

令和5年7月9日(日) 明治神宮至誠館第二弓道場 参加44チーム、個人158名

○団体:②埼弓連Jチーム(浅子好夫、小島修治、川合儉司)(全て大宮) ○個人 称号の部:③川合儉司(大宮) 四・五段の部:②小島修治(大宮)③瀬田 稔(大宮)⑤時岡秀教(宮代)

●特別国民体育大会関東ブロック大会

令和5年7月23日(日) 埼玉県立武道館 参加128名

○成年男子チーム:高野 聖(久喜)、松本英悟(草加)、藤井健人(松伏) 監督:古泉利昭(駒場)

○成年女子チーム:小野千絵美(記念)、白石美奈子(大宮)、篠原妃誉(ふじみ野) 監督:吉澤和代(小澤道場) ※以上2チーム、特別国民体育大会(鹿児島県出水市)出場決定

●第36回埼玉県民総合スポーツ大会【弓道競技:中学の部】兼第20回全国中学生弓道大会埼玉県予選会

○団体 女子の部:①所沢市弓道スポーツ少年団B②浦和中A③秩父第一中A 男子の部:①秩父第一中B②星野学園中学校A③所沢スポーツ少年団

○個人 男女とも第1位~第3位を決定

※団体男子の部1位及び団体女子の部1位のチーム並びに個人男女1位の選手は、第20回全国中学生大会へ出場

●令和5年度全日本弓道選手権大会関東ブロック予選会

令和5年7月30日(日) 東日本技術研究所武道館弓道場 参加80名

※全日本選手権代表選出:軽込次男(岩槻)

●第20回全国中学生弓道大会 JOC ジュニアオリンピックカップ大会

令和5年8月19日(土)・20日(日) 全日本弓道連盟中央道場/明治神宮武道場至誠館弓道場

参加 団体:男女各44チーム、個人:男女各43名

出場選手 団体:男女各1チーム、個人:男女各1名

●第61回埼玉県勤労者弓道選手権大会

令和5年8月27日(日) 埼玉県立武道館 参加95名

○団体:①日高A(井上陽介、佐藤 真、沼倉光広)②記念A(フビィエンハダヤ、川邊秀一、北島康弘)③上尾A(飯塚雄己、齋藤幾央、川口 治)③宮代A(橋本有美、元村友洋、大塚聡樹) ○個人:①五十川実千恵(吉川)②前川琢也(草加)③島田 勲(小川)④松井啓介(春日部)⑤川口 治(上尾)

●第64回関東地域弓道選抜選手権大会

令和5年9月24日(日) 千葉県総合スポーツセンター弓道場 参加100名

○個人戦 有段者の部:①高野 聖(久喜)(射技優秀賞、全弓連特別賞も受賞)

称号者の部:③宮澤梢枝(川口)(全弓連賞も受賞)

●令和5年度全日本弓道選手権大会

令和5年9月29日(金)~10月1日(日) 全日本弓道連盟中央道場 参加男女各49名

出場選手:軽込次男(岩槻)

●特別国民体育大会

令和5年10月13日~16日 鹿児島県出水市(特設会場) 参加314名

○成年男子チーム 近的:第3位、遠的:第7位

高野 聖(久喜)、松本英悟(草加)、藤井健人(松伏) 監督:古泉利昭(駒場)

○成年女子チーム 遠的:第2位

小野千絵美(記念)、白石美奈子(大宮)、篠原妃誉(ふじみ野) 監督:吉澤和代(小澤道場)

※天皇杯(男女総合成績) 埼玉県 第6位



秩 父 支 部

支部長 町田 文利

コンプライアンス研修で感じたこと

支部長 町田 文利

8月26日に埼玉連主催のコンプライアンス研修会が開催されました。埼玉連としても時代の要請に従い、公共性の高いスポーツ団体としてその運営の透明性の確保と事業活動に関し順守すべき基準を作成する必要があることがわかりました。

研修後半の「ハラスメント」については、スポーツ団体では特に注目されている問題です。パワハラ・セクハラと言っても受ける側がどう感じるかによって該当するかどうか境界が曖昧なところがあり、難しさを感じます。常識的な範囲であれば問題は生じない筈なのですが、その常識も近年では益々曖昧になっている感があり、複雑化する一方です。パワハラになるのではないかと恐れるあまり指導者が情熱を失ってしまわないか心配です。上達するための努力・精進は自分自身の意思で行うものですが、時には指導者からの熱のこもった指導や叱咤激励が背中を押してくれる事も多いと思います。日頃から信頼関係の醸成や適切な距離感、言葉使いを気を付けたいものです。弓道教本第一巻の序論には「弓道の倫理性」「弓道の最高目標」が記述されています。弓道人が弓道から何も学んでいないと言われない様に、改めて弓道の目的を再認識して稽古にあたりたいと思いました。

<競技・講習会>

●第1回支部カップ戦

令和5年5月14日(日) 秩父市第1弓道場
参加77名

- 中学生:①星野朝輝②荒田芽衣③新井遥翔
- 高校男子:①北堀祐成②渡邊涼司③富田修平
- 高校女子:①奥山結衣②高橋 凜③川合菜花
- 一般男子:①町田孝之②清水慶一③野沢 匠
- 一般女子:①大野きみ②井上美根子③嶋田みゆき

●第2回支部カップ戦

令和5年6月18日(日) 秩父市第1弓道場
参加87名

- 中学生:①相馬花音②引間晴哉③澤登真尋
- 高校男子:①常木湊太②引間達哉③近藤汰一
- 高校女子:①川合菜花②奥山結衣③江川愛里
- 一般男子:①清水慶一②守屋 豊③若林武司
- 一般女子:①井上美根子②瀬戸美代子③齋藤公子

●第3回支部カップ戦(近的・遠的選手権)

令和5年8月6日(日) 秩父市第1弓道場
参加23名

近的の部

- 一般男子:①町田孝之②黒沢 誠③石田徳光
- 一般女子:①井上美根子②柿沼道子③町田悦子

遠的の部:①野沢 匠②吉澤和代③若林武司

●秩父郡市高等学校弓道大会(四高戦)

令和5年9月16日(土) 秩父高校弓道場
参加36名

- 男子団体:①秩父高校Bチーム
(伊藤正翔、内田光弥、佐藤 颯)
- ②秩父農工科学高校Aチーム
(佐藤誠拳、引間達哉、北堀祐成)
- ③秩父農工科学高校Cチーム
(浅賀鉄平、茂木敦也、若林虎太郎)
- 女子団体:①秩父農工科学高校Aチーム
(川合菜花、井上亜優、田口乃愛)
- ②小鹿野・秩父高校混成チーム
(山科こむぎ、篠田珠里、黒田陽依)
- ③秩父農工科学高校Bチーム
(戸田あゆみ、小泉陽加、本橋マリア)
- 男子個人:①引間達哉(秩父農工科学高校)
- ②伊藤正翔(秩父農工科学高校)③松田丈成
(秩父農工科学高校)
- 女子個人:①田口乃愛(秩父農工科学高校)
- ②川合菜花(秩父農工科学高校)③井上亜優
(秩父農工科学高校)

●支部高校生講習会

令和5年9月10日(日) 秩父市第1弓道場
参加19名 講師:秩父支部指導委員

県北支部

支部長 高橋 久雄

2023年度

支部長 高橋 久雄

コロナウイルスも5類になり、市民生活が戻ってきましたが、新たにインフルエンザも流行りだし、まだまだ安心できる状況ではありません。

県北支部では埼玉連の感染防止対策を参考にしつつ行事を運営しています。今年の支部行事は人数制限をせずに、感染防止のためマスク着用として実施しています。しかし、コロナ禍で弓道を去った人もおり、以前の参加人数まで戻っていないのが現状です。

そんな中、久々に明るい話題がありました。4月29日に行われた県下三道大会で熊谷運動公園弓道場のチーム（関口尚人、関口淳子、三澤一夫）が団体優勝、且つ関口尚人さんが個人優勝しました。



<競技・講習会>

●第1回支部カップ戦 兼 県民スポーツ大会支部予選、県遠的選手権予選

令和5年5月7日（日）熊谷運動公園弓道場
参加56名 団体：①熊谷公園（長井、高荷、莊子）②熊谷公園（三澤、大嶋、吉田）
個人：一部：①莊子（熊谷公園）②青木（行田）③茂木（熊谷公園） 二部：①長井（熊谷公園）②石原（行田）③大嶋（熊谷公園） 三部：①押切（熊谷武道館）②四方田（行田）③香川（深谷BT）

○県民スポーツ大会支部予選結果

男子A：熊谷市（長井、大嶋、関口）、男子B：熊谷市（高荷、莊子、茂木） 女子A：熊谷市（吉田、江田、関口） 女子B：鴻巣市（荻原、奈良、井上）

○埼玉県遠的選手権大会予選結果

五段以上：女子：荻原（鴻巣）川久保（深谷BT）、吉田（熊谷公園） 男子：長井（熊谷公園）、青木（行田）、石原（行田） 四段以下：女子：関口（熊谷公園）、古平（熊谷公園）、新井（行田） 男子：関口（熊谷公園）、大嶋（熊谷公園）、森（行田）

●第2回支部カップ戦 兼 県武道大会予選

令和5年8月20日（日）熊谷運動公園弓道場
参加85名 団体：①行田A（島崎、高田、青木）、②熊谷公園（長井、高荷、莊子） 個人：一部：①西岡（深谷BT）②片山（鴻巣）③島崎（行田）④茂木（熊谷公園） 二部：①長井（熊谷公園）②馬場（熊谷公園）③田邊（鴻巣） 三部：①西嶋（熊谷公園）②小此木（熊谷公園）③平川（深谷BT）

○武道大会予選結果

男子：長井（熊谷公園）、西岡（深谷BT）、馬場（熊谷公園）、田邊（鴻巣）、関口（熊谷公園）
女子：片山（鴻巣）、西嶋（熊谷公園）、坂本（深谷BT）、平川（深谷BT）、宇佐美（深谷B）

●県北支部高校生大会

令和5年8月17日（木）熊谷運動公園弓道場
参加：男子108名 女子116名 計224名
男子優秀校：本庄高等学校
女子優秀校：正智深谷高等学校
個人：男子：①深田（本庄）②吉田（成徳深谷）③齊藤（深谷商業） 女子：①田中（本庄）②高松（正智深谷）③羽賀（正智深谷）

●令和5年度第1回支部講習会

○参段／四段 4月23日（日）本庄市若泉運動公園弓道場 参加23名 講師：飯島千代子 範士
4月26日（水）本庄市若泉運動公園弓道場 参加12名 講師：岡芹喜行教士
○初段／弐段 4月23日（日）行田市総合公園弓道場 参加14名 講師：茂木昭夫教士
4月26日（水）寄居町アタゴ記念館弓道場 参加6名 講師：島村保男教士

●令和5年度第2回支部講習会

○参段／四段 7月30日（日）熊谷運動公園弓道場 参加18名 講師：島村保男教士
8月2日（水）本庄市若泉運動公園弓道場 参加13名 講師：岡芹喜行教士
○初段／弐段 7月30日（日）行田市総合公園弓道場 参加21名 講師：高橋久雄教士
8月2日（水）寄居町アタゴ記念館弓道場 参加3名 講師：飯島千代子 範士

東 部 支 部

支部長 二見富士夫

2期目を迎えて

支部長 二見富士夫

不安を抱きながら拝命した支部長の役職も、漸く2期(3年)目に入ってきました。今振り返ってみると、就任当初は世の中コロナの真っ盛りで、支部の事業(講習会や大会)も本来の内容に加え、感染予防を図りつついかに無事に遂行できるかに重点を置かざるを得ない状況で悪戦苦闘した2年間だった気がします。

そんな中、支部や連盟の役員の方々の確かな実務遂行能力にもとづく協力を得られたことには、本当に感謝しております。

ようやく本年度に入り、徐々にではありますがコロナ前の対面による通常の事業開催が可能になってきたことは大きな喜びです。

一方、大会において参加者が分担する業務(進行、記録、看的、など)の様子を見ると、コロナ禍での「失われた3年間」で様々な運営ノウハウや遵守すべき手順などが途絶し、ややもすると不手際が目立つのも事実です。

また、支部主催の講習会の参加者が、限られた会員に固定化している課題もあります。審査申込書に受講歴の欄が省略されたために受講者が減ったのではとの穿った見方もある様です。

いずれも、普段の各道場における各自の練習の姿勢に根ざす大事な課題だと思われま

す。これらの改善には、日頃の地道な努力が必要でしょうが、やはり各道場やサークルでの活動を通してOJT(On the Job Training)的に、手順を順守し、不具合があれば、その都度、内容を確認・指導し、各自が実務を通して覚えていくことが肝要と思います。

弓道に勤しんでいる方の目的・目標には様々な形があることは事実で、それらを包容できることが弓道の真価だとも思われます。

そのためにこそ、先輩たちが築いた伝統の上に、環境の変化に則した改善を加えながら、弓友と楽しく集い、快い緊張感の中で場を共有する機会を増やして行きたいと考えております。

<競技・講習会>

●県南・東部支部高校生弓道大会

令和5年3月21日(火)30日(木) 大宮公

園弓道場 参加630名 男子団体:②久喜北陽Aチーム 男子個人:③小川蒼生(伊奈学園総合)

●東部支部選手権大会兼県総合スポーツ大会予選兼県武道大会予選会

令和5年5月5日(金祝日) 県立武道館弓道場 参加61名

支部選手権 近的の部:①新里 陵(久喜)②高野 聖(久喜)③今野貴稔(春日部)

遠的の部:①吉田昭雄(久喜)②木村鷹士郎(桶川)③柿沼清孝(春日部)

県民総合スポーツ大会出場代表選手を男女各6名選出、また、県遠的選手権出場選手を各部門で計12名選出

●県南・東部支部高校生弓道大会

令和5年8月17日(木)18日(金) 大宮公園弓道場 参加470名

男子団体:①伊奈学園B②伊奈学園C③春日部A

女子団体:①久喜A②伊奈学園A 男子個人:②

森 樹生(伊奈学園) 技能優秀賞:森 優介(春日部東)、藤本英斗(杉戸農業)、大室英大(春日部)、結城花菜(久喜)、見木寧々花(久喜)

●道場対抗戦兼県武道大会予選会

令和5年9月17日(日) 大宮公園弓道場

参加75名 道場対抗戦:①上尾②桶川③幸手

団体戦:①上尾C②春日部B③春日部F

個人戦:優勝カップ獲得者:今野貴稔(春日部)

①高野 聖(久喜)②川口 治(上尾)③麻生とし江(久喜)

●県武道大会最終選考会

令和5年9月23日(土) 大宮公園弓道場

参加27名 選出選考結果:監督:高野 聖

一般女子:奈良直子(幸手)、村上節子(上尾)、前澤梨江(春日部)、圓子トキ子(春日部)、石井千尋(上尾)

一般男子:三田 明(春日部)、柿沼清孝(春日部)、二見富士夫(春日部)、増淵政行(杉戸)、高橋宗次郎(春日部)

●第1回講習会(一般の部)

令和5年5月7日(日) 大宮公園弓道場

参加23名 講師:綾戸岩雄教士、村上広子教士、山崎朋美教士、二見富士夫錬士

内容:一手行射、体配の履修、講話、射技指導、仕上げ行射

●第2回講習会（一般の部）

令和5年6月10日（土） 大宮公園弓道場

参加18名

講師：北原さい子教士、齋藤 満錬士、赤塚幾子錬士、新井 満錬士

内容：矢渡・介添講評、一手行射、射技指導、仕上げ行射

●第3回講習会（高校の部）

令和5年7月31日（月） 大宮公園弓道場

参加59名

講師：綾戸岩雄教士、南雲三枝子錬士、高橋かおる錬士、麻生とし江錬士、仲田孝雄錬士、富永剛志錬士

内容：審査における体配指導

●第4回講習会

令和5年8月5日（土） 県立武道館弓道場

参加22名

講師：根本武次郎教士、山崎朋美教士、山本管子錬士、細野隆志錬士

内容：一手行射、講話、仕上げ行射

●第5回講習会

令和5年9月16日（土） 大宮公園弓道場

参加14名

講師：北原さい子教士、二見富士夫錬士、高橋かおる錬士、富永剛志錬士

内容：講師演武、一手行射、射技説明、質疑応答、射技指導、仕上げ行射

編集後記 72号

記録的な猛暑も漸く落ち着き、弓には絶好の季節となってきました。

そんな中、本誌では浅野有三範士に投稿をお願いし、貴重な文章を賜ることができました。

また、本年度は国民体育大会関東ブロック大会が埼玉県で開催されました。一般社団法人となって初の大事業でしたが、埼弓連の組織力と関係者の尽力で成功裡に遂行することができました。この貴重な経験を皆様にもお伝えすべく「特集 関東ブロック大会」を企画しました。

ご挨拶が前後しましたが、先任の高橋久雄先生に代わり、本号より二見が編集に携わることになりました。未熟者ですが、諸先生方にはご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

編集長 二見富士夫

県南支部

支部長 鹿野 信恵

弓道の魅力

戸田市弓道連盟 小島 克之

コロナ感染症の影響なのでしょうか？

行動制限の緩和や解除が行われ、身体を動かす何かの候補の一つに「弓道」があり、そして実際に選択された方が多くいることに、弓道に携わっている者として大変嬉しく思います。

戸田市弓道連盟では、通常では年1回2月に募集し4月から実施で弓道教室を実施していますが、始めたいと思われている方が多いとの声を受け、昨年は9月に臨時開催を致しました。

臨時開催にもかかわらず、定員数の5倍以上の応募があり嬉しい反面、多くの方が弓道にふれる機会を逃してしまった事を残念に思っていたのですが、本年度1回目の弓道教室も定員数を大きく上回り、現在2回目となる秋教室が開催されています。

弓道教室を終えられた方全てが、引き続き弓道が続けられる訳ではありませんが、きっかけをもって踏み出した一歩ですから、是非、もっともっと弓道の魅力を感じてもらいたいです。

弓道の魅力は？と問われると、「道場と言う凜とした空気の中で弓矢を手にし、動かぬの前に立ち矢を放ち、的中した時の音を聞いた時、清々しい気持ちになれる」と答え、その次に、同じ趣味を持った仲間達と射技射法について語り、弓具について語り、共に刺激しあい成長していける事を締め言葉としています。

個人でも、仲間と共にでも、弓道を楽しむ事ができる。そして、仲間は老若男女を問わないのは弓道の素晴らしさだと思います。

この夏に新たな弓道の魅力と出会いました。言葉では知っていたのですが、自身とは少し遠くに感じていた、国民体育大会（国体）です。埼玉で行われた、国体関東ブロック大会に、競技役員として参加し、関東+山梨の1都7県で成年・男女、上位4チームと少年男女、上位3チームの国体本戦進出枠を競う姿を間近で見る事が出来ました。

一人一人の一射がチームの勝敗を分ける中で、大前のいの一発で矢を放つ緊張、中は、中りは落へと繋げ、外れは、中が断ち切り大落に繋げ

る中の緊張、時に勝敗を分ける最後の一射を放つ大落の緊張、皆それぞれの緊張の中で弓を引いていました。

8チームの内10月に行われる本戦に出場できるのは4チーム(少年は3チーム)です。競技終了後に会場外れで涙を流し支えられていた選手を幾人か見かけました。無念の涙だったのでしょう。そして本戦に勝ち進んだチームでは、大喜びをしているのではなく、控えめにお互いがアイコンタクトで称えあっている選手の姿を多く見ました。

一般から弓道を始めた人にとって団体戦は馴染みの薄い感覚を持っていましたが、皆、厳しい選手選考会を勝ち抜け選手となる中で、共に練習を重ねたがチームに残れなかった者の気持ちや、県の代表と言う本当に重いものを背負って放つ一射一射の重さを誰よりも知っている選手達を見て、感動する弓道であり選手達でした。又、関東ブロック大会の事の大きさを改めて感じた射会でした。

今年は、埼玉から成年男子・成年女子の2チームが鹿児島本戦に出場するので、現地には行けません、ネット観戦で応援したいと思います。(便利な世の中になりましたね)

個人の射を追求し称号・段位を目指す弓道競技として射を追求する弓道
仲間と共に弓を引く弓道
弓具について語り合う弓道
各々の弓道に、様々な魅力が溢れている。
弓道の魅力は奥が深いと思いました。

<競技・講習会>

●県南支部総会射会

令和5年3月26日(日) 県立武道館
参加62名

個人成績 ①大川欣之(草加)②高橋利夫(川口)③宮澤梢枝(川口)

●県南支部優勝杯戦

令和5年4月15日(土) 県立武道館
参加85名

<近的の部> 団体戦:①越谷E(宮内 毅・大西三枝子・小川幸子)②松伏A(篠崎美緒・藤田 領・藤井健人)③吉川C(森 俊人・内山吉文・五十川英俊)

個人戦:①黒須昭宏(越谷)②五十川実千恵(吉川)③中村 薫(吉川)

<遠的の部>

個人戦:①藤井健人(松伏)②富澤英明(川口)③前川琢也(草加)

●県南支部選手権大会

令和5年6月11日(日) 大宮公園弓道場
参加82名

個人成績 ①藤井健人(松伏)②藤井澄恵(越谷)③前川琢也(草加)

●第1回講習会 参・四段の部

令和5年5月3日(水・祝) 大宮公園弓道場
参加35名 講師:市川政子、加藤睦正 各教士

●第1回講習会 貳段以下の部

令和5年5月4日(木・祝) 大宮公園弓道場
参加23名 講師:坂本 恵教士、三井秀美錬士

●第2回講習会 参・四段の部

令和5年9月9日(土) 大宮公園弓道場
参加25名
講師:飯島千代子範士、鈴木多恵子教士

●第2回講習会 貳段以下の部

令和5年9月10日(日) 大宮公園弓道場
参加30名 講師:大竹淑夫、木本将史 各教士

●県南支部高校生講習会

令和5年8月12日(土) 大宮公園弓道場
参加33名 講師:高橋なみえ教士、福島 實、宮崎正範、浜崎千秋 各錬士
令和5年9月13日(日) 大宮公園弓道場
参加33名 講師:宮内 毅教士、二宮三千子、星野里美、森 俊人 各錬士

※ 講習内容は各段位に応じて体配・射技指導等を実施

●県南東部高校生大会

令和5年8月17日(木) 大宮公園弓道場
審判員協力:大竹淑夫教士、郡司 勉錬士
令和5年8月18日(金) 大宮公園弓道場
審判員協力:宮澤梢枝教士、矢部 慶錬士

県 央 支 部

支部長 荒井 渉

新たな会員の増加のために

岩槻弓道会 飯嶋 功

岩槻弓道会もコロナの影響で会員数が減少し新たな会員を増やすべく昨年3年ぶりに弓道初心者教室を開催することとなり、土曜日午前の部と木曜日夜の部で各コース10名、合計20名で行いました。三密を避け少人数での開催でしたので一人々々に時間を掛けて丁寧に指導が出来たと思います。又、感染者も出さずに無事終了することができ、そのうちの16名が入会していただきました。コロナ過での制約が多いなか11月の審査で初段合格を目指してみなさん全員合格を目指し一生懸命練習に励んでおります。

本年度も弓道初心者教室を開催しようと市広報へ教室生募集の掲載依頼をしたところ掲載不可との連絡が、続けて翌月の掲載依頼をしましたが又も掲載不可とのこと、年間行事の都合で本年度の初心者教室は中止となり新たな会員の獲得はできなくなりました。

さいたま市スポーツ振興課へ掲載不可の問い合わせをしたところ掲載の可否の決定は市広報の編集部で決めているとの回答をいただきました。初心者教室の開催で教室生の募集の在り方をどのようにして行くかが今後の課題となりました。

<競技・講習会>

●県民総合スポーツ大会選手候補者選考会

令和5年5月6日(土) 大宮公園弓道場
参加42名

●県民総合スポーツ大会選手候補者選考会

令和5年5月27日(土) 大宮公園弓道場
参加37名 12名の選手を選出

●武道大会選手候補者選考会

令和5年8月11日(金) 大宮公園弓道場
参加55名

●夏季高校生・中学生大会

令和5年8月20日(日)男子 21日(月)女子
大宮公園弓道場 参加519名

○団体男子／①浦和A(平田・綾部・山口)
②浦和C(左・小岩井・坂井)③大宮A(杉浦・

加藤・市川)○団体女子／①大宮光陵B(土門・近江・藤本)②大宮武蔵野A(小八重・井澤・市川)
③大宮光陵A(江泉・松村・丹治)

○個人男子／①長道風雅(市立浦和)②綾部敬太(浦和)③多田光騎(浦和学院) ○個人女子／①藤本紫悠(大宮光陵)②大村友莉香(浦和南)③小八重美桜(大宮武蔵野) ○中学生個人の部／①串間萌花(市立浦和)②近藤優里(市立浦和)③中野川真那(市立浦和)

●武道大会選手候補者選考会

令和5年8月27日(日) 大宮公園弓道場
参加49名

●参段以下講習会

令和5年4月22日(土) 大宮武道館弓道場
参加27名 講師:廣松 弘、竹内せき子各教士 講習内容:一手行射、講師講評、講師演武、射技指導、一手行射

●参段以下講習会

令和5年4月23日(日) 大宮武道館弓道場
参加35名 講師:松澤かおり、平野博幸各教士 講習内容:着装や射法八節などの講話、射技指導

●称号者(錬士)講習会

令和5年4月29日(土) 県立武道館弓道場
参加23名 講師:石川武夫範士 講習内容:矢渡後講評と介添解説、一手行射後個別講評、石川範士による実演と解説、個別指導

●四段以下講習会

令和5年6月4日(日) 大宮公園弓道場
参加58名 講師:岡田義助、松澤かおり、加藤祐子、清水繁子、山中茂夫各教士 講習内容:一手行射、主任講師による講評、式段以下基本動作の講話、参段以上肌脱ぎ、櫛さばきの練習、射技指導、一手行射

●称号者(教士)講習会

令和5年7月9日(日) 大宮武道館弓道場
参加15名 講師:柴田 猛範士 講習内容:一手行射後個別講評、柴田範士による実射を交えた射技解説、個別指導、一手行射、質疑応答

●四段以下講習会

令和5年9月2日(土) 大宮公園弓道場
参加73名 講師:廣松 弘、松澤かおり、軽込次男、片岡一子各教士 講習内容:一手行射、射技指導、一手行射

西部支部

支部長 池谷 茂

コロナ禍から3年

富士見市弓道連盟 小原 純子

コロナ禍で中止されていた弓道教室が昨年から再開されました。人数や時間等規制の中での募集でしたが、参加希望者が多く初夏と秋の2回に分けての開催となり13名が入会して下さいました。入会者は高校生から70代までの幅広い年齢層で、目的も心身の鍛練や健康維持等各自様々な思いでのスタートです。そして今年の初夏も体育館の意向で弓道教室を開催した結果12名が入会して下さり、入会者の多さに嬉しい悲鳴が上がりました。

当連盟は指導方針として「弓道指導は、射技、射法、体配だけでなく、態度や考え方など立派な弓道人を育てていくことを目的とし、最も優れた弓道連盟となることを目指す。」とあります。初心者には危険防止の為に腕や身体に触れる必要が生じますが何よりも安全を優先して、態度や言葉遣いにも気をつけて暴力的な言葉やセクハラと受け取られる言動をしないことを心がけています。信頼なくしては指導の成果は表れないからであります。一つの体験として弓道教室に参加された人達が真摯に稽古して成長する姿は私達の励みになります。

まだ暫くはwithコロナが続きます。密を避けながらも弓道を楽しんで継続して稽古出来るような環境作りや活動方法を模索していく必要があります。賑わいが戻り弓を愛する弓友と切磋琢磨する喜びは何にもまして嬉しい事でもあります。

<競技・講習会>

●西部支部読売新聞さいたま支局杯争奪戦 兼 寿射会 兼 県スポーツ大会予選会

令和5年5月28日(日) 所沢市民武道館弓道場
参加144名 団体40チーム120名 個人24名
○読売杯/①篠原妃誉(ふじみ野)②安江仁美(所沢)③小原純子(富士見)④出下晃一郎(朝霞)⑤池谷 茂(ふじみ野)
○寿射会/◇寿A:①池谷 茂(ふじみ野)②加藤憲男(三芳)③内野里子(新座)◇寿B:①野

沢晴江(ふじみ野)②福本美智子(志木)③新井竹夫(富士見)

○県スポ大会予選通過チーム/◇男子A:朝霞A(花房実美、今井諒佑、乙須拓洋) ◇女子A:所沢G(安江仁美、小泉今日子、森下珠美)
◇男子B:朝霞B(城崎 修、結城秀和、境 和久) ◇女子B:新座C(三浦陽子、手塚由香、高野節子)

●中部西部支部親善射会【中止】

令和5年7月9日(日) 日高アリーナ弓道場

●埼玉県武道大会高校地区予選会

令和5年8月9日(水) 日高アリーナ弓道場

○県武道大会予選通過/◇女子:岩田みずほ(所沢北)、武田 悠(所沢北)、山下采子(所沢)、坂本碧衣(所沢)、山田希未(所沢商業)

/◇男子:橋本響樹(所沢商業)、知久莞汰(所沢北)、長瀬陽平(所沢北)、佐藤拓心(所沢)、榎戸奏一郎(所沢北)

●第31回西部支部選手権大会 兼 県武道大会選手選考会

令和5年9月9日(土) 所沢市民武道館弓道場

参加154名 団体51チーム153名 個人1名

○団体戦/①所沢I(中村徳海、脇 瑛富、飯尾 弘)②富士見B(長瀬きよ子、小原純子、藤澤和子)③所沢C(増田裕子、小林孝則、平山夏子)③所沢H(松寄 昇、湯浅紀美子、森下珠美)

○個人戦/①平塚雄一(富士見)②中村徳海(所沢)③飯尾 弘(所沢)④新井竹夫(富士見)⑤関口二郎(所沢)

○県武道大会選抜選手/◇男子:平塚雄一(富士見)、中村徳海(所沢)、飯尾 弘(所沢)、新井竹夫(富士見)、関口二郎(所沢) ◇女子:篠原妃誉(ふじみ野)、太田昭子(朝霞)、松高桂子(新座)、佐藤めぐみ(朝霞)、三好啓子(所沢)

●第1回講習会

令和5年4月23日(日) 式段まで 朝霞市内間木公園弓道場 参加 午前・午後30名

講師:本橋民夫教士 内容:体配指導・一手行射・射技解説・射技指導・仕上げ行射

令和5年4月23日(日) 参・四段 三芳町弓道場 参加:午前・午後29名 講師:市川政子教士

内容:一手行射・個評及び全体講評・射技指導・仕上げ行射

●第2回講習会

令和5年6月4日(日) 式段まで ふじみ野市立スポーツセンター弓道場 参加26名
講師：西崎明伸教士・斎藤和子教士 内容：一手行射・射技解説・射技指導・仕上げ行射
令和5年6月4日(日) 参・四段 富士見市総合体育館弓道場 参加28名 講師：池谷茂教士・吉本かをる教士 内容：一手行射全体講評・射技指導・仕上げ行射

●高校生夏期講習会

令和5年8月3日(木) 所沢市民武道館弓道場 参加 午前のみ12名 講師：永島英男教士・増田裕子教士 内容：執弓の姿勢・入退場・一手行射・射技指導・質疑応答

●特別講習会

令和5年8月20日(日) 教士対象 新座市総合体育館弓道場 参加12名
講師：飯島千代子範士 内容：受講生での矢渡及び講評・射礼研修・射技指導・仕上げ行射
○第2回講習会より一日対応の講習会開催にしました。

トピックス

埼玉県国体選手の健闘

鹿児島で開催された特別国民体育大会では、関東ブロック大会を勝ち抜いた埼玉県の選手(成年男子・成年女子)が立派な成績を残しました。

詳しくは、本誌11ページをご覧ください。



中部支部

支部長 寶田 常則

創立50周年を迎えて想うこと

日高市弓道連盟 鳶田 富男

日高市弓道連盟は、令和5年10月に創立50周年を迎えることとなります。日高市文化体育館弓道場には、日高町弓道部創始者吉野正雄先生揮毫「洗心」の額を掲げてあります。

ここに50周年を迎えることとなり寄稿を依頼されましたが、私は創立20年後に弓道を再開したものですから、それ以前の経緯を知りません。そこで、日高町で弓道がどのようにして根付いたのか、今は弓道から退かれておられる先輩諸氏にお伺いすることと致しました。

ここに、50周年といいましても「日高町弓道連盟」と改称しましたのが昭和48年10月のことです。それ以前は「日高町弓道部」として日高町体育協会に所属し、三道大会・町弓道大会などの射会が開催されていました。

先輩諸氏の話ですと、昭和41年ころに町助役を勤められていた吉野先生が近隣名栗村(現飯能市)助役から「弓道を普及させないか」と勧められたのが始まりだそうです。吉野先生は剣道のほか書道などに秀でられておりましたが、弓道についての経験はなかったそうです。吉野先生が日高市に弓道を始められ普及させられたか否かをどなたもご存じありません。名栗村助役さんの勧誘の言葉に確かな影響があったのかどうかも今では推測の域を出ません。

話は逸れますが、名栗村の弓道の歴史は古く私の知る限りでも個人道場や村営道場がありました。埼玉県弓道連盟創立五十周年記念誌(以下記念誌)に「盛んだった名栗の弓道」と記されており、その隆盛が窺われます。私も弓道を始めたころ、元埼玉県弓道連盟副会長町田真之亮先生の道場「守静堂」で合宿してご指導を受けたことがあり懐かしく感じております。また「地元の高校に弓道部を立ち上げて飯能地域における弓道普及の拠点」としたい思いから昭和39年東京オリンピックの年に弓道経験者の松崎直則先生を招請して飯能高校弓道部が発足しました。地元の支援を得ての弓道部発足であり翌年には立派な弓道場が完成し、多くの県内諸先生にお越しいただき盛大に道場開きが開催さ

れたのです。実に恵まれた環境のなかでの高校弓道部のスタートとなったのです。

そのような弓道普及活動の機運が盛り上がるなかで、昭和41年8月に日高町弓道部が立ち上がったものとも考えられます。当初、吉野先生は役場職員や知人を募り、5～6名で弓道の練習が始まったのですが、全員が未経験者ですから指導者を隣毛呂山町の私設道場で弓道を指導されていた奥富八一先生を頼り指導を受けることとなったのです。

日高町弓道部では、昭和44年4月に吉野先生の自宅前に道場を建設しました。資材は会員が持ち寄り建設の大半は会員が協力しあつてのことだったと伺いました。奥富先生に指導を受けておりましたとおり弓道部に指導者がおらず奥富先生の指導を「共に学び合う家」と解して「偕学舎弓道場」としたそうです。町当局への道場建設も考えておられたのでしょうか、町財政の現状と弓道会員数の少なさに一般に認められない事情があったのでないでしょうか。その為に奥富道場・偕学舎弓道場など私設道場が先行していたのだと思います。記念誌によれば、県内の会員数は昭和31年で416人となっています。因に、埼玉県HPでは昭和35年当時95自治体・人口243万人です。この状況下で県下に多くの公設道場の建設要望のためには会員数の増加は急務だったのではないのでしょうか。従って、現在の私たちは公設道場の恵まれた環境下で弓道に精進できることに感謝し、そのころの諸先輩のご苦労ご努力の思いを忘れてはならないのだと思います。

最後になりますが、吉野先生が揮毫された「洗心」の意味について知る方はおられません。ただ、ある方が先生にその意味するところをお聞きしましたら「ペレストロイカと同じ」だとおっしゃられたとのこと。自宅近くの神社の手水舎にも「洗心」と書かれていました。その意味は各自思うが俚でよろしいと思いません。日高市立弓道場は昭和51年に建設され、平成16年の埼玉国体弓道会場となり立派な道場が建設されました。これらのことは記念誌に詳しくあり省略します。「洗心」の心を大事にして、諸先輩が露天の弓場から始め弓道に精進されご苦労を思い今があることに感謝の気持ちをもって弓道に精進したいものです。

<競技・講習会>

●県民総合スポーツ大会支部予選会

令和5年5月28日(日) 入間市武道館弓道場
参加 13チーム 39名

男子の部：狭山(萩生田稜、長澤喜代巳、宮崎博)・毛呂山(千葉秀明、市川浩治、三宮貞文)
女子の部：日高A(篠原和子、中山政子、相澤ゆかり)日高B(坂東文、小濱恵子、清水恵津子)

●第23回中部支部選手権大会兼読売新聞埼玉支局杯争奪戦兼県武道大会支部予選大会

令和5年8月6日(日) 日高アリーナ弓道場
参加 28チーム 87名(事前予選通過者)

団体の部：①小川A(島田勲・伊藤謙吾・安野雄次)②日高A(井上陽介・佐藤真・沼倉光広)

③狭山C(金野真・三巴孝・長澤喜代巳)

個人の部：①西崎明伸(入間)②千葉秀明(毛呂山)③生田香津美(鶴ヶ島)

●みのり会射会

令和5年10月3日(火) 日高アリーナ弓道場
参加 64名 ①安野雄次(小川)②大塚幹雄(狭山)③松井康久(川越)

第1回支部講習会

令和5年4月15日(土) 日高アリーナ弓道場
参加 弐段以下 35名、参四段 41名
講師：市川政子教士・町田文利教士・須田明江教士・寶田常則教士

●第2回支部講習会

令和5年7月30日(日) 入間市武道館弓道場
参加 弐段以下 23名、参四段 24名
講師：西崎明伸教士・吉澤郷実教士

●第3回支部講習会

令和5年8月27日(日) 川越武道館弓道場
参加 弐段以下 17名、参四段 14名
講師：須田明江教士・千葉公教士

<入間市武道館弓道場の改修工事>

改修工事に伴い、令和6年12月まで使用できません。近隣の弓道場にお世話になりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

特集 関東ブロック大会

鹿児島国体関東ブロック大会 を終えて

競技委員長 本橋 民夫

鹿児島国体関東ブロック大会が、令和5年7月22日(土)～23日(日)に埼玉県立武道館弓道場において開催されました。

準備に当たっては、数回にわたって全体会議、主任会議等を重ねてマニュアルの作成及び相互のつき合わせを行いました。そして、本年度の「県民総合スポーツ大会」をリハーサル大会として、各支部等から出していただいた選手を各県の代表選手とみなしてチームを編成し、国体関ブロ形式で役員の錬成を行いました。

皆様の献身的なご努力及び周到的な準備により、大会は円滑に運営され、ほぼ計画した時刻に終了することができました。

今回の大会運営の成功は、埼玉県弓道連盟としての総力を挙げて努力した結果だと思えます。

役員として務めて頂きました皆様、その他いろいろな面でご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

関東ブロック大会とは

(編集委員)

本年度、埼玉県で開催された「特別国民体育大会関東ブロック大会」は、国民体育大会出場都県を決定する関東地区予選大会です。

1 参加都県

関東ブロックを構成する1都7県(東京都、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県、神奈川県、山梨県)

2 種別

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子

3 チーム編成

種別ごとに監督1名、選手3名で構成され、合計128名の参加者となります。

4 予選通過枠

予選では、成年男子・成年女子で各4枠、少年男子・少年女子で各3枠を競います。

5 競技種目

種別ごとに近的及び遠的競技の合計点で出場枠を競います。

近的競技は射距離28m・36cm霞的を用いた的中制で、遠的競技は射距離60m・100cm得点的を用いた得点制です。4種別、2種目ともに各自4射ずつ2回(1団体24射)です。

6 配点基準

種別毎に近的は的中数、遠的は得点数の最高から順位を決定することになっています。

各種別とも順位によって、1位:8点、2位:7点、・・・、8位:1点のように得点を与え、各種別の総合順位を決め、この総合順位の高い方から通過枠数を決めます。

7 選手強化

埼玉連では、「国体選手強化委員会」(古泉利昭委員長)の下、選手の育成に力を注ぎ、今回の大会に臨みました。

8 開催準備

各都県持ち回りで開催され、8年毎に担当します。2年前から準備を始め、計画・検討を行い、数回のリハーサルを行うなど盤石な準備があって、成功裡の開催に至りました。

大会運営

大会運営を振り返って

運営副委員長 中島 勇

前回埼玉で開催の2015年と今回2023年の国体関東ブロック大会の競技運営に携わらせていただきました。

通常県の大会運営や前回と今回の違い、今後の大会に向けての改善点などを競技運営の面から述べさせていただきます。

1 通常の県大会との違い

県大会では、各支部選出の競技委員が競技運営に携わっています。手の足りないところは出場選手に運営協力を依頼しますが、コロナ禍で選手の人数が絞られ、役員業務は競技委員が専任で行うしかない状況が続いておりました。

また、競技委員が兼ねている的前審判や、射場審判などが専任で配置されていること、看的

係が種別や出場都県の表示板を入れ替える作業、アナウンスが入り、原則、そのアナウンスに従って運行すること、弦切れ時の作業を進行係から監督に渡して監督が行うなど、いくつか違う点があります。

このため、競技役員の役割を一定の時期から関プロの役員に合わせて固定化し、それぞれの業務に精通するように方向性を打ち出しています。それでも、競技委員以外の役員も大勢いますので、準備にあたって担当ごとの打合せが複数回必要でした。

2 前回の関プロとの違いの概要

前回の関プロでは、栃木県の競技運営要領や記録（エクセル）などを利用し、埼玉県に合わせた形に補正して作成しました。

今回は、前回のものを参考に、近的・遠的の射場委員長を中心に細部を検討していただき、リハーサル大会や各担当部門での検討を重ねて追記・校正したものに改善しました。次回以降は、これを元に、その時点での IT 環境の変化などを加えながら、利用していけると思います。

また、前回と異なりコロナ禍の中、補助員として高校生をお願いできない状況から、すべて一般会員からの役員構成となりました。

3 前年開催地への視察の重要性

競技役員として前回も携わった方は大勢いらっしゃると思いますが、担当役職が同じ方は少ないと思います。通常の県大会などとは異なる役割や運行がありますので、早めに前催県の大会運営を視察することは、それぞれの役職の見るべきことを映像として自覚でき、改善点や自県での運営に当てはめるために重要です。

今回は、前年開催の東京都での記録・速報状況（LANでのネットワーク構築やユーチューブ配信など）や控室の設置・動線・必要備品など、視察員として現地に赴いた役員からの多くの写真や報告によって、埼玉県でできること、できないことが明確になっていきました。視察員の所属するそれぞれの担当部会でも、具体的な対応への参考になったものと思われまます。次回も多くの担当部会ごとに視察に行かれることが、スムーズな運営のため必要であり、また、後催県である山梨県の視察員へ説明するにも、より

具体的な対応ができたものと思います。

4 競技運営要領・放送原稿

関プロ運営は、競技運営要領と放送原稿を元に進行します。それぞれの係分担との整合やリハーサルである県民総合スポーツ大会でおおよその校正を行い、本番直前で選手名・審判名を取り込み完成の流れです。放送担当の皆さんには正確な内容はもちろんですが、話しやすさ聞きやすさを念頭に詳細な原稿を作成していただきました。実施後の反省を踏まえた修正を加えれば、今後の大会運営に生かせるものと思います。

5 大会競技記録・速報

今回は、手書きの競技記録を本部記録がパソコン入力し、決裁後に配布の流れで、成績速報の発表が遅くなった反省や東京都のシステム状況の視察結果から、手書き記録とは別に、射場でPCに入力を行い、有線LANでネットワークを組んだ本部記録で即座に取り込み、近的・遠的結果をまとめることにしました。当初は無線Wi-Fiを利用していたが、クラウド上でグーグルスプレッドシートでの構築を考慮しましたが、通信障害が起きる可能性や、夏場での開催であり、時期的に雷での瞬間停電などを考慮し、有線LANでのシステム構成・エクセルでの記録入力となりました。

目指したのは、正確かつ迅速な処理です。作業内容によりエクセルでのマクロを本部記録係が設定し、必要な書類作成、印刷枚数など、操作ごとにマクロボタンに割り当て、ワンクリックで作業が完成する流れを作っていただきました。次回はシステム構成が変わるでしょうから、次期担当される方は対処が必要です。何度もシミュレーションを実施し、万全を期していただいた本部記録の皆様へ感謝申し上げます。

記録入力にあたっては、エクセルのセルにリスト表示も採用しましたが、マウスでクリック選択の場合の小さなセル表示での選択ミスを減らすため、近的では○×を、遠的では0・3・5・7・9・10を直接入力できるテンキーを製作して対応しました。

県大会でも使用してみて、簡便かつ正確な入力が行えることから好評でした。このテンキー

製作した
入力用テンキー



はそのまま他の PC でも使えます。(○× の設定のみ個々の PC に対応が必要です。) 競技委員会が保有していますので、製作希望や利用希望の方はお問い合わせください。

6 ユーチューブ

本部記録室では射場の進行状況が分かりません。近的射場では遠的射場の様子分かりません。遠的射場では近的射場の様子分かりません。このため、ユーチューブで射場の状況を関係者のみに配信していただきました。成績状況の合成を行わなかったため、情報量としては物足りない面もありましたが、運行状況の把握には役立ったと思います。

7 施設・設備設営

前回の関ブロは他競技が同日程で重複開催しておりましたが、今回は弓道単独での開催となり、会場的には余裕がありましたが、県大会とは異なる都県名表示や種別表示、控室からの動線でのサインなどなど、設営担当の皆様には迅速に作成設置していただき、本当に感謝しかありません。

視察での成果の取り込みや、係内で打ち合わせを綿密に行っていただいた結果と思います。

8 今後の開催に向けて

事前準備をいつから開始するかは、その時点の役員構成やもろもろの事情により変更はあると思いますが、前回に比べて早めに始めた今回の関ブロの準備と多めの視察員の派遣は、正解だったと思います。

準備開始当初こそ、それぞれの担当部署ごとに、具体的な個々の準備内容や動きに戸惑われているところも感じましたが、県民スポーツ大会でのリハーサル、公開練習を経て、実際の本番当日の運行は、埼弓連役員の皆様の運営能力の高さを実感できるものでした。

それぞれの担当ごとに大変だったと思いますが、特に的前審判や看的係の皆さんは、国体選手の集中力を乱さないよう、動きも最小限にと配慮するなど、選手からも選手団関係者からも見られているだけに、一番気疲れされたのではないのでしょうか。

世の中はデジタルの時代です。次回はさらに IT 化が進み、的を映像化し、的中判定なども人間が見なくても、IT 機器ですぐできる時代が来るかもしれません。

関ブロだけでなく、令和 8 年開催予定の「ねりんピック」や通常の県大会などにも、今回携わった役員の皆さんの経験が引き継がれ、よりよい競技運営ができますようお願いして運営報告といたします。

大会総務

関東ブロック大会での総務の役割と成果

総務委員長 平野 博幸

国民体育大会関東ブロック大会は、関東 1 都 7 県持ち回りで開催される。大会には関東のトップ選手が集まり、名実ともに関東最大かつ最高の大会である。

大会運営は全日本弓道連盟競技規則に則り厳密に行われる。同競技規則では大会役員として「名誉会長、会長、顧問、参与、大会委員長、総務委員長など」が、競技役員として「競技委員長、審判委員長、運行委員長など」が示されている。そして大会役員の任務は「競技の執行を除く大会の開催および運営全般について必要な事項を担当する」とされている。つまり、総務とは競技以外のほぼすべての必要業務を担当する部署ということになる。したがって、事前に役割を分担したからと言ってその役務のみを執行するだけでは総務の責任は果たせない。次から次へと求められるさまざまな業務を、互いの連絡・調整を行いながら執行していかなければならない。

今回の総務は大きく「接待・受付委員」「庶務・式典委員」「会計委員」「救護委員」「設営・警備委員」に分けられたが、競技委員と重なる業務として「本部記録委員」との連携も重要であった。

総務としては求められた業務は十分に果たせ

たと考えているが、ここでは改めて今回の大会を振り返り8年後の次回埼玉開催に向けての課題と成果を記録しておきたい。

1 準備期間(2021年～2022年)

前回(2015年)の関東ブロック大会は埼玉連役員が大幅に代わった直後であったこともあり、準備期間も短く慌ただしい大会準備・開催となった。今回はその経験を踏まえ、大会開催の2年前から準備を開始した。埼玉連競技委員会により2021年度の栃木関東ブロック大会の視察を行うとともに、市川運営委員長を中心に役員の選任を2021年度中に行った。2022年4月の評議員会当日に第1回役員総会を開催できたことは、その後の準備のための大きな成果であった。2022年度は主任会を数度開催しながら、各部署での細かな業務内容を詰めていった。しかし、新型コロナウイルスの流行拡大のため東京関東ブロック大会の視察が十分に行えなかったことは不安材料となった。

一方で、県当局との予算ヒアリングも行われ、会計委員は競技役員と連絡を取りながら大会全般の物品・旅費等の算出と県への説明を繰り返した。その結果、前回は上回る県からの予算を獲得できたことは大きな成果となった。

その他、会場確保や関連業者との協議も十分な時間をかけて行うことができた。

2 リハーサル

2023年度4月に第2回役員総会を開催した。この時まで数回の主任会を開催しており、各部署の準備は順調に進んでいたが、この時点では大会会場でのリハーサルは行われていなかった。

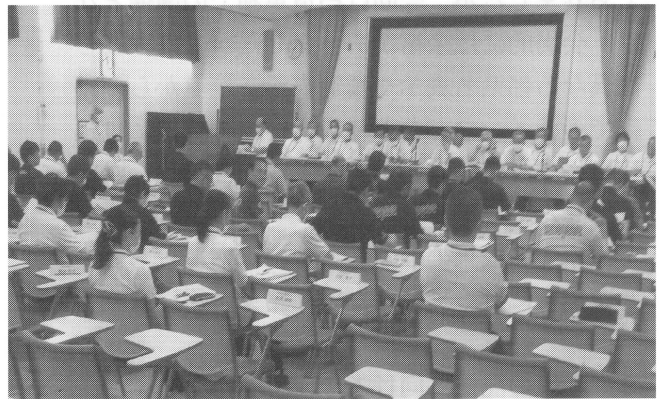
前回関東ブロック大会では、リハーサルとして本大会開催の前週に役員リハーサルを行ったが、十分な時間をとることができず、不測の事態が発生すれば一部「ぶっつけ本番」となることも予想された。特に前回関東ブロック大会ではゲリラ豪雨等の天候不順が続いていたが、悪天候への対応は机上の準備のみであって、不安を抱えての大会運営であった。また、同日同会場で行われる他競技との事前協議も行われず、実際、大会当日に物品移動等の場面で一部混乱が発生した。

今回は初めて競技役員を行う会員も多いこともあり、大会リハーサルとして本大会の3週間前に「県民総合スポーツ大会」を関東ブロック大会と同様の競技方法として行うことで役員訓練の場を確保した。このリハーサルでは、競技役員訓練のみならず、物品移動・役員間の連携等についても十分な準備が行えたと考えている。また、県内各支部の協力、県立武道館・県当局の理解と予算措置等も得ながら行うことができ、本大会前週のリハーサルと合わせて、あらゆる場面を想定しての準備を行うことができたことは大きな成果であった。

3 各役員の業務

(1) 接待・受付委員/庶務・式典委員

接待・受付委員と庶務・式典委員は業務を行う時間帯が特定の時間帯に偏っている。そのため、本来の役割分担を超えて協力して業務を行う必要がある。さまざまな物品(ネームプレート、配布物、プラカード等)の準備から会場設営、食事の準備、接待、受付業務、式典の進行、関係部署への連絡等、その業務内容は幅広い。今回も担当者にはベテランを配置して万全を期したが、経験の継承が課題である。



監督会議の様子

(2) 会計委員

会計業務は県の予算を扱う部署であるため、県から指示された方法ですべての業務を行うことが求められる。その業務は大会開催日から1年以上前に行われるヒアリングから始まる。ここでは弓道競技の特性を含めて県の担当者に必要事項を十分に説明しなければならない。つまり経理に詳しいだけではこの業務は務まらない。今回は県競技委員も経験している方をお願いし

たが、大会後の県への会計報告まで気の抜けない業務が続いた。

(3) 救護委員

新型コロナが5類に移行し、感染症対策が緩やかになったとはいえ、依然としてコロナ感染が続いている中での大会開催であった。また、今年の夏の暑さはこれまで経験のないものであり、熱中症対策にも万全を期さなければならなかった。今回は冷風機の設置等も行った上で、スポーツドクターの資格を持つ医師と看護師（ともに埼玉連会員）の2人体制で選手・役員健康管理に努めた。大会までの期間に役員の中からコロナ感染者・濃厚接触者が複数名出たが、大会運営には支障は生じなかった。また、大会期間中のコロナ感染者の発生、熱中症の発生はなかった。今後も同様の対応が必要になると思われる。

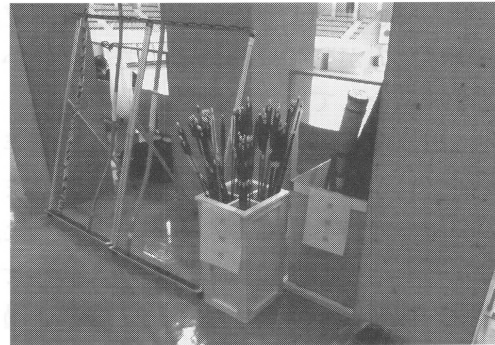
(4) 設営・警備委員

設営・警備委員の主な業務は競技や大会運営に必要な様々な物品の準備・配置・維持管理と駐車場の管理である。このうち前回大会では駐車場の管理に多くの人数を割き、暑い中での業務をお願いしなければならなかったが、今回は他競技が同じ日程で関東ブロック大会を行うことがなかったため、大駐車場を使用することができ、中学校等に終日、係を配置する必要がなかったことは今後の関東ブロック大会を開催するにあたって考慮すべき事項としてよい経験になった。物品の準備・配置については担当委員が事前に繰り返し打ち合わせを行い、写真に見られるような手作りの物品の作成も行った。手作りとはいえ、今後の大会にも使用できるレベルの製品だった。大会当日も早朝の準備から役員が帰宅した後の会場チェックまで行っていたが、この部署の重要性には今後も留意し、人数の増員も含めて考えていかななくてはならない。

(5) 本部記録委員

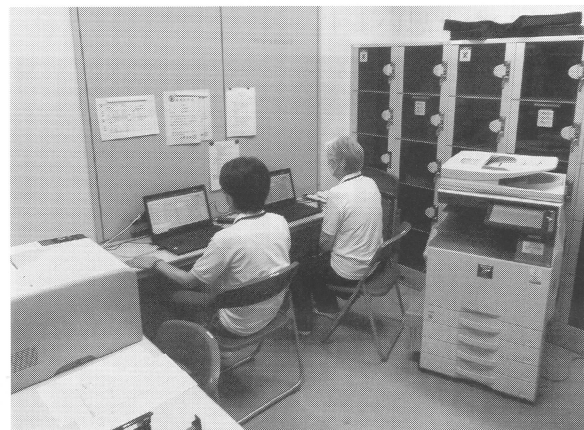
絶対に間違いの許されない部署の一つが本部記録委員である。選手・監督は結果を注視している。しかもすみやかな業務遂行が求められる。正式記録の発出と掲示・配布が時間との競争で

行われたが、競技委員との協力もあって競技が滞ることもなく遂行できたことは大きな成果であった。



選手控室の弓立・矢立・矢筒立

今回の大会では高校生の補助役員を置かなかった。その分、業務は大変であったが、埼玉連の力を結集する大会運営ができ、大きな経験を得ることができたと考えている。



本部記録室の様子

出場監督

国体チームの監督として

成年男子監督 古泉 利昭

私が成年男子の監督をお引受けしてから3回目の関東ブロック大会になりますが、1回目の大会で監督を務めたときなどは、最初に入場する際控えていて手足が少し震えていたのをはっきり覚えています。選手にも聞きますと初めて選手となり、最初の立ちで引く時は足が震えるなど、とても緊張するとどの選手も言います。

今回は地元開催ということで、選手が過度の緊張をしないかということが一番の心配でした。

運営役員の皆様もそれを心配されて、会場では選手に特別の声掛けはせず、自然体で対応す

るようにみんなで申し合わせをしていると本橋会長からお聞きしました。私も選手に「当日も挨拶だけはしっかりしてください。緊張でまともな挨拶もできないようでは駄目」と普段どおりを心掛けた方が緊張は取れるのではないかとそのような話をしていました。

今回は出場選手の中成年男子が2名、成年女子が1名ブロック大会は初めての選手がいましたが、やはりとても緊張したとのことでした。ただ男女ともその緊張に負けないで大崩れせずほぼ普段の練習どおりの成績で関ブロを通過できたのは選手の頑張りほさることながら、皆様のお気遣いのお陰と感謝しております。

また、会場におりますと応援に来ていただいた方、運営役員の方も口には出されませんが心から応援してくださっているのが肌で感じられ、それも選手にとってはとても心強かったのではないかと思います。



これから鹿児島国体に向かいますが、悔しい思いをした少年の分まで頑張ってきたと思いますので、応援くださるようお願いいたします。また、最後になりますが、一緒に頑張った少年の選手、役員の先生方、またこれまで選手、監督を支えてくれた強化委員の皆様にもお礼を申し上げます。

出場選手 (成年男子)

関東ブロック予選会に出場して

成年男子 高野 聖

7月23日に行われた特別国民体育大会関東ブロック予選会では、猛暑の中、非常に多くの役員の方々にご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、今回の関東ブロック予選会は会場が埼玉県立武道館であり、慣れ親しんだ会場で競技できることにアドバンテージを感じつつも、地元開催であることが逆にプレッシャーになるのではないかと不安に感じながらのスタートとなりました。

国体強化錬成会では、強化委員の先生方から技術的な指導のほか、近的の的中数・遠的の得点数の目標値を設定した稽古やメンタルトレーニング、アンチドーピングの研修など、チーム一丸となって関東ブロック通過を意識した稽古に取り組みました。

7月2日のリハーサル大会、7月15・16日の公開練習と予選会が近づき焦る気持ちは膨らむ一方でしたが、リハーサル大会で控えの配置や運営について意見を出した際には快くご対応をいただき、色々な形で応援されているんだなと実感したことが落ち着くきっかけになったように思います。

関東ブロック予選会当日を迎えると、控えの武道場から射場まで空気が張り詰め、重い雰囲気がありましたが、その中でも意外と落ち着いて準備ができ、あとはいつもの射をするだけでした。ところが、いざ本番で射位に立つと緊張で弓が弱く感じてしまい、思うような的中とはなりませんでしたが、頼りになるチームメイトの的中に支えられて本国体出場となりました。

10月13～16日に開催される「燃ゆる感動かごしま国体」では、成年男女で力を合わせ、総合優勝を目指して全力を尽くしたいと思います。



埼玉からは少し距離がありますが、声援を送っていただければ幸いです。

出場選手（成年女子）

出場に向けて

成年女子 篠原 妃誉

2020年に開催されるはずだった「かごしま国体」に挑戦できることは感慨深いものがあります。今年の成年女子の選手には、当時選手として選出されながら出場が叶わなかった選手や、私のように挑戦はしたけど埼玉県内での選手選考にも残れなかった選手もいます。滅多にない「同じ国体への再挑戦」が巡ってくるとは、あらゆる事に特例を適用されたコロナ禍の特殊性を感じます。

そのかごしま国体出場を目指す今年の関東ブロック予選大会は埼玉県での開催でした。連日の酷暑の中、打ち合わせや会場準備、リハーサルで多くの方々のご尽力により大会が開催されたこと、選手として出場しながら本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。開催県の応援はプレッシャーにもなると言われていましたが、運営の方々のお気遣いや、国体強化委員の先生方のご指導、そして共に稽古した強化選手の皆さんの熱烈なサポートで大会に集中することができ、成年男女ともに予選通過の結果に結びついたと思います。ただ、成績は満足出来るものではありませんでした。本国体で予選を通過するためには、選手のギアをさらに上げないといけません。そのため、各自の課題を本国体ギリギリまで克服する努力をしてきました。射技だけでなく体調管理も精神面も気遣えるところは出来る限り、それぞれの社会で、家庭で、協力を得て調整してきました。まだ現時点でチームとしての完成形ではありませんが、鹿児島にて後悔のない1本1本を積み上げて、埼玉県チームの矢数をかけることが大好きな選手たちが満足いくほど、トーナメントではどのチームよりも多く試合を続ける中で完成させていきたいと思っています。かごしま国体では、ご支援・ご協力いただいた方々の応援を力に換えて、貴重な再挑戦を、全国の強豪選手が発する心地よい緊張感を、精一杯楽しんでこようと思います。



出場監督（少年男子）

関ブロを終えて

少年男子監督 古岡 大路

今大会は多くの会員の方々のご尽力のおかげにより、素晴らしい環境で競技に参加することができました。ありがとうございました。

少年男子チームは、強化練習を通じて近代的には安定した的中を出せていました。しかし遠的には課題があり、本番までチームで目標とする点数に届きませんでした。選手は全力で真摯に弓道に取り組んでおりましたので、本国体に導けなかったことを指導する立場として反省しております。今後は今まで以上に強化部の力を集結して、本国体出場を目指したいと思います。

出場選手（少年男子）

少年男子選手 宮下 雄琉

（坂戸西高校）

私が強化期間で学んだことは、練習と大会での気持ちの整え方です。私が練習でうまくいかないとき、成年男子の選手の方が「本番に中ればいい、そのための練習だから」と仰いました。その言葉が心に響き、練習ではポジティブな考え方になり、気持ちを整えられるようになりました。私自身を成長させる良い経験になりました。ありがとうございました。

少年男子選手 足立 遼太

（武蔵越生高校）

私は今回の国民体育大会関東ブロックにおいて様々な経験を積むことが出来ました。他校の先生方の指導や先輩方から学ぶことは多々ありました。その学びは県の代表の緊張感を、とて

心地よく楽しいものに変えてくれました。次年度も県の代表に選ばれるように頑張りたいと思います。

少年男子選手 **川端 歩武**
(坂戸西高校)

今回関東ブロック大会に出場できたことは嬉しく思います。この大会で多くの人と関わることが出来ました。特に、成年の選手の方々と話し、射を拝見することで多くのことを学びました。結果は思うようにいかず、先生方には申し訳なく思いますが、今回の経験を今後の自分の射に生かせるように頑張ります。

出場監督 (少年女子)

少年女子監督 **丸山 康弘**

猛暑の中での関東ブロック大会でしたが、冷風扇などの対策をしていただき競技に集中できたことに大変感謝申し上げます。しかしながら、選手の実力を本番で発揮させることができず、本大会への出場権を獲得できなかったことを悔しく、申し訳なく思っております。

改めて関東ブロック大会への調整の難しさを感じました。しかし、監督、選手ともに素晴らしい経験をさせていただきました。この経験を今後のブロック大会にいかせるよう高体連一丸となって励んで参ります。引き続きご指導の程お願い申し上げます。

出場選手 (少年女子)

少年女子選手 **寒河江涼菜**
(坂戸西高校)

練習が始まってからは緊張や不安がありましたが、先生方からのアドバイスや応援が励みとなり、三か月間最後までやり遂げることが出来ました。大会当日は緊張し思い通りになりませんでした。この大会を通して多くの方と関わることができ、良い経験となりました。

応援してくださった皆様ありがとうございました。

少年女子選手 **加藤 聖菜**
(秩父農工科学高校)

今回関東ブロック大会に出場するにあたり、沢山の方々の支えや声援のおかげで競技に挑めたことにとても感謝しています。悔しい結果で終わってしまいましたが、大会を通して他校の選手や先生方と関わることで、沢山の刺激をもらい成長することが出来ました。

貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

少年女子選手 **増田 姫夏**
(坂戸西高校)

今回関東ブロック大会を終えて、実力のある関東の選手の方々と試合を行うことができ、とても良い経験になりました。また、自分の良いところも悪いところも明確になった大会だったと思います。今回の経験を生かしてこれからも様々なことに力を入れ努力していきます。

今大会まで、協力、応援して頂いた方々に感謝しております。ありがとうございました。



画・松本 正